

誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

指標の説明と定義

誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされます。喉頭ファイバースコープや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができます。

分子 分母のうち、「D299 喉頭ファイバースコープ」あるいは「E0037 造影剤注入手技
嚥下造影」検査が行なわれた実患者数
分母 誤嚥性肺炎患者数(実患者数)

指標の種類と値の解釈 プロセス

グラフ

